

文化
情報

姫路

1

2024

Himeji cultural information



特集

人形浄瑠璃 文楽

人形遣い・吉田玉勢さんインタビュー



特集 人形浄瑠璃 文楽 人形遣い・吉田玉勢さんインタビュー

「二人三番叟」©国立文楽劇場



吉田玉勢さん

「人形浄瑠璃 文楽」は日本を代表する伝統芸能の一つで、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。物語や登場人物の心情を語る「太夫」、幅広い音色により語りをもさらに深く、厚みを増したものに「三味線」、時に生身の人間以上に訴えかける「人形」の「三業」による総合芸術とも言われます。

一体の人形を3人の人形遣いが操るといふ技芸は世界的にも例がなく、その一人が姫路市出身の吉田玉勢さんです。今年3月に、アクリエひめじで「人形浄瑠璃 文楽」の本公演と鑑賞教室が開催されるにあたって、文楽との出会いや演目のみどころなどを聞きました。

—— 子ども時代の思い出。

姫路城の近くにあった幼稚園に通い、三の丸広場を裸足で走り回っていました。年の離れた兄たちが、幼稚園に迎えに来てくれたこともありました。母が山陽電車の高架下にある商店街で小さいうどん屋を経営しておりまして、会社帰りの父が店の手伝いに来て、みんなで山電に乗って住家のある白浜の宮駅まで帰っていました。

灘のけんか祭りが近くなると、毎年ワクワクしていました。文楽の世界に入ってから、毎年10月に巡業や海外公演があり、何年も祭りを見ていなかったのですが、最近ではYouTubeで見られるようになりました。ただ、一度も屋台を担いだことがないのが今でも心残りです。

—— 文楽との出会いは。

中学3年生の春です。母が、姫路市文化センターで開催される「文楽」(巡業公演)のポスターを店内に貼っていたんです。たまたま人形遣いの方がお店に来られて、「大阪の公演にもぜひお越し下さい」ということで、父と一緒に初めて国立文楽劇場で鑑賞しました。人間の世界を人形が表現している不思議な空気感、太夫の声、三味線の音。自分は日本人なんだと改めて感じました。

—— なぜ人形遣いを志したのですか。

「なにが違うことをして引っ込み思案な自分を変えたい」「自分

らしく生きるために自分は何がしたいんやろう」と模索していた頃でした。舞台上、おじいちゃんが若い主役の人形を遣ってたくさん拍手をもらっていて、こんな世界があったんや！とびっくりしました。中学卒業後に研修生になり、そのおじいちゃん(初代吉田玉男さん)に入門。引っ込み思案でしたから「人形遣いはしゃべらなくてもいいし」と思っておりましたが、実際はそんなわけにはいかなかったです(笑)。

—— 3人で一体の人形を操ります。

修行は「足遣い」から始まり、「左遣い」(左手)、「主遣い」(首と右手)と段階があります。今の私の主軸は左遣いですが、脇役などの主遣いも並行して修業中です。私が入門した頃は「足遣い10年、左遣い15年」と言われていましたが、後輩が辞めていったり研修生が入ってこなかったりで、足遣いを20年ほどやっております。

—— どのような難しさがありますか。

役を演じる以前に、人形に感情や呼吸を入れて動かすことが大事です。かっこよく言うと、魂を入れる！でしょうか。これが自然にできるまでがなかなか大変です。立ち役の重い人形になると10kg近くになりますので、人形を持って構えるだけでも一苦労。曲や振付を覚えたとしても、人形が動かなかつたらダメですし、その逆もまた然りです。若手から中堅クラスまでは、ほとんど最

初から最後まで舞台に出ています。体力の維持と心のバランスにも気をつけています。

—— やりがいを感じられるところは。

覚えなければならないことがたくさんあるので、それが生き甲斐になっているのかもしれませんが。芸を通していろんな表現ができますし、舞台に出ている間は現実逃避というか、嫌なことが忘れられます。舞台で失敗して、忘れたいことがさらに増えることもあります(笑)。

入門からこれまで、心が折れそうになったら添え木をして、の繰り返しです。入門から33年、よくやってこれたなと思います。「死ぬまで修行」と言われる古典芸能の世界ですから、先輩方には「まだ33年やないか!」と怒られそうですが……。

—— 演目のみどころを教えてください。

「義経千本桜」は平家の滅亡後を描いた時代物で、「仮名手本忠臣蔵」「菅原伝授手習鑑」と並ぶ時代物の三大名作の一つです。庶民が主人公の「世話物」で、今回上演いたしますのは三段目の「椎の木」の段と「すしやの段」です。

主役は、いたずら好き、嘘つきで乱暴者の権太という悪人です。「ごんたくれ」「ごんたもの」という言葉はこの権太からきています。しかし権太の本当の心情は……。悪人が実は善人だったという「もどり」という演技や趣向がみどころです。前半は楽しく微笑ましいのですが、悲劇のクライマックスを迎えます。

—— 玉勢さんは「主馬小金吾武里」役ですね。

私が遣わせていただく小金吾は平維盛の家来です。主君の御台所(正室)若葉の内侍と、その子どもの六代君をお守りし、維盛の元へ向かっている最中なのが「椎の木」の段です。その次に、若葉の内侍と六代君を捕らえようとする捕手に討たれる「小金吾討死の段」があるのですが、今回は時間の都合上、上演できないのが残念です。「すしやの段」の前にもう一つ場面があることを思い出してご覧いただくと幸いです。



「義経千本桜 小金吾討死の段」©国立文楽劇場

—— 姫路ではひさしぶりの公演です。

鑑賞教室では、文楽は決して敷居が高いものでも特別なものでもなく、昔も今も変わらない庶民の身近な娯楽の一つなんだと感じていただけたと思います。教室の後に本公演をご覧になることで、鑑賞の幅が広がり、深く楽しんでいただけたと思います。内容がわかりやすいように、字幕もご用意しております。お時間がございましたら、ぜひどちらもご覧いただき、また次の公演にも足をお運びくださると幸いです。

—— 初めて鑑賞する方に、メッセージを。

人形遣いは古くは一人でしたが、三人遣いが考案されて約290年になります。皆様のお爺さんやお婆さん、ひいお爺さんやひいお婆さんが、もしかしたら同じ舞台をご覧になっているかもしれ

ません。時空を超えてノスタルジーを感じられるかもしれません。いろんな楽しみ方をしてくださると幸いです。

—— これからの目標、夢を教えてください。

先人達が築き上げたこの芸能が途絶えないように、どんな状況になっても自分の役目を全うすることが目標です。一つの場所にとらわれず、いろんな場所、いろんなスタイルで文楽を広められたらと思います。いつか姫路城をバックに人形を遣うのが夢です! よろしく願いいたします!

プロフィール 吉田玉勢

1973年、3人兄弟の末っ子として生まれる。父の趣味が狂言、母が地唄三味線をたしなんでいた影響で、小学2年生から三味線を習っていた。中学卒業後の1988年5月、国立劇場文楽第13期研修生となり、1990年4月に初代吉田玉男氏に入門、吉田玉勢と名乗る。同年、国立文楽劇場で初舞台。2008年4月、第36回(平成19年度)文楽協会賞。2013年9月、平成25年度 大阪文化祭賞 グランプリ。2022年3月、第41回(令和3年度)国立劇場文楽賞 奨励賞。

人形浄瑠璃 文楽

3月10日(日) / アクリエひめじ 中ホール

【本公演】

14:00〜 / 一般4,000円、高校生以下2,000円(全席指定)

演目 / 義経千本桜

椎の木、すしやの段

浄瑠璃三大傑作の一つに数えられる時代物で、人形浄瑠璃全盛期の1747年に大坂の竹本座で初演されました。『平家物語』の中の、都に残した妻子を恋慕いつつ戦場を去って高野山で剃髪、那智の沖で入水した平維盛の物語を題材として、奈良県吉野郡の老舗「つるべすし弥助」を舞台に一家の悲劇を描き、愛しい妻子を犠牲にした権太の悲しみが胸に迫る三段目をお届けします。

【鑑賞教室】

11:30〜 / 一般1,000円、高校生以下500円(全席指定)

内容 / 文楽三業(太夫、三味線、人形)の解説

実演「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

八百屋の娘お七は、吉三郎に思いを寄せています。吉三郎は主人から家宝の剣を探そう命じられており、今夜中に見つけなければ切腹しなければなりません。お七は借金のせいで結婚させられる商人がその剣を持っていることを知り、吉三郎に知らせようとしますが、町は木戸が閉まっていて通れません。お七は重罪を承知で、町中の木戸を開けるために半鐘を鳴らすのでした。

問 姫路キャスパホール 079-284-5806



義経千本桜 すしやの段



伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段

1.4 新春の寿ぎ ～高砂で新年を祝う～
(木) 14:00～15:00/大ホール前ロビー/無料/定員先着80名
アクリエひめじ文化講座「江崎欽次郎の能楽ちよいかじり」の新春特別編。江崎欽次郎さん(謡)、上田敦史さん(小鼓)、森山泰幸さん(大鼓)が講師を務めるほか、山中歩夢さん(ピアノ)をゲストに迎えて邦楽と洋楽のコラボレーションも。
問 アクリエひめじ 079-263-8082

1.6 アクリエひめじ ニューイヤーコンサート2024
(土) 14:00～/中ホール/一般500円、高校生以下無料
山中歩夢さん(ピアノ)、林 裕美子さん(声楽)の出演で、「ジュ・トゥ・ヴー」「蝶々」「英雄ポロネーズ」他を演奏します。
問 アクリエひめじ 079-263-8082

1.13 演歌競宴 in 姫路
(土) 14:00～/大ホール/S席6,500円、A席4,400円
徳永ゆうき、青山 新、新浜レオンの出演です。
問 グッドラック・プロモーション 086-214-3777

**1.14 イリュージョニスト HORYU & RIRICO
イリュージョンマジックライブ at 姫路**
(日) ①14:00～②17:00～/小ホール/一般3,800円、小学生以下1,800円(当日各500円増)
contact@vollmond-illusion.com

1.15 劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」
(月) 18:30～/大ホール/S席 完売、
A席8,000円 ※残席わずか、B席5,000円
ハッピーが止まらない、大人気ミュージカル・コメディをお届けします。
問 姫路キャスパホール 079-284-5806



撮影:荒井 健

1.20 第十六回 桂米團治独演会
(土) 13:30～/中ホール/一般4,500円、高校生以下2,500円
問 姫路労音 079-290-5522

1.28 第67回 プロムナード・コンサート
(日) 10:00～11:30/小ホール/無料
青木智子さん(ソプラノ)、松尾益民さん(ピアノ)、井上智津子さん(ピアノ)、山村実由さん(ピアノ)の出演で、谷村新司:昴、ビゼー:歌劇「カルメン」より 前奏曲、中田喜直:雪の降るまちを 他を演奏します。
問 ラ・プロムナード・ミュージカル 080-9279-5133(松尾)

アクリエひめじ文化講座

1.6 (土) 楽しいハーモニー
14(日) 18:30～20:30/スタジオ1・5 /2,000円(1カ月分)/定員50名
20(土) 井上敏典さん(6日のみ)、鏡谷明夫さん、竹上孝子さんが講師を務めます。
28(日)

1.16 考古学が語る播磨の古墳時代
(火) 14:00～15:30/会議室407/500円/定員80名
播磨学研究所事務局長の岸道昭さんが「播磨国の制度的誕生」と題して講演します。

1.18 山中歩夢の音楽の愉しみⅡ
(木) 11:00～12:00/メインスタジオ/500円/定員50名
ピアニストで東京藝術大学非常勤講師の山中歩夢さんが講師を務めます。

1.18 日本近世絵画の読み方
(木) 11:00～12:00/会議室407/500円/定員80名
神戸大学文学部非常勤講師の橋本寛子さんが「秋田蘭画と図像解釈」と題して講演します。

1.18 もっと知りたい姫路城 ～名城と接する楽しみ～
(木) 14:00～15:30/会議室407/500円/定員80名
県立歴史博物館社会教育推進専門員の堀田浩之さんが「行ってみたい国内の城跡」と題して講演します。

1.25 西洋美術の歴史と読み方
(木) 14:00～15:30/会議室407/1,000円/定員80名
神戸大学大学院教授の宮下規久朗さんが「風景画の歴史3」と題して講演します。

いずれも要申込、定員に達し次第締切
問 アクリエひめじ 079-263-8082



パルナソスホール

**1.8 バロック in 姫路
声の魔力**
(祝) **バロックの歌物語 ～オペラ《ポッペアの戴冠》を中心に～**
14:00～/一般3,000円、高校生以下1,500円

鈴木美登里さん(ソプラノ)、小林 恵さん(ソプラノ)、波多野睦美さん(メゾソプラノ)、中嶋俊晴さん(カウンターテナー)、佐藤亜紀子さん(テオルボ)、大塚直哉さん(チェンバロ、ポジティブオルガン)の出演で、モンテヴェルディのオペラ《ポッペアの戴冠》から、内容や聴きどころ、名場面をわかりやすく紹介するハイライトコンサートです。
問 パルナソスホール 079-297-1141



**1.13 パルナソス 朝のハーモニー
No.244 ロマンズの響き ～愛を紡ぐチェロの名曲～**
(土) 10:30～11:30/500円 ※3歳以上入場可

稲本愛歌さん(チェロ)、松尾 紗里さん(ピアノ)の出演で、
シューマン: 献呈 Op.25-1、
シューマン: アダージョとアレグロ 変イ長調 Op.70、
ブラームス: チェロソナタ 第1番 短調 Op.38 他を演奏します。
問 パルナソスホール 079-297-1141



稲本愛歌

松尾紗里

1.14 第29回 2024ニューイヤーコンサート
(日) 13:00～15:30/無料
問 姫路市学校指導課 079-221-2767

**1.28 オルガンシリーズ Vol.16
オルガン協奏曲の祭典**
(日) 14:00～/一般 2,500円、高校生以下1,000円
長田真実さん(オルガン)、大平健介さん(指揮、オルガン)、長岡 聡季さん(ヴァイオリン)、廣海史帆さん(ヴァイオリン)、伴野 剛さん(ヴィオラ)、懸田貴嗣さん(チェロ)、永田由貴さん(コントラバス)の出演で、G.F.ヘンデル:オルガン協奏曲 へ長調 HWV293、J.S.バッハ:協奏曲 へ短調 BWV1056 他を演奏します。
問 パルナソスホール 079-297-1141



2.10 バロックダンス講習会
(土) [クラス1]13:00～14:15
[クラス2]14:30～15:45
[クラス3]16:00～17:15
1クラス2,000円/定員各12名程度/1.4(木)から1.25(木)までに申込
湯浅宣子さんの指導で、17～18世紀にヨーロッパの宮廷で踊られたバロックダンスを学びます。
詳細はパルナソスホールホームページでご確認ください。
問 パルナソスホール 問 parna@himeji-culture.jp

2.12 オルガン講座「1日体験」
(祝) A(小・中学生)13:00～14:30
B(小学生以上どなたでも)15:00～16:30
2,000円/定員各6名程度/1.15(月)までに申込(必着)
長田真実さんの指導で、楽器の女王・パイプオルガンを体験します。
詳細はパルナソスホールホームページでご確認ください。
問 パルナソスホール 問 parna@himeji-culture.jp

姫路キャスパホール

- 1.20 真田ナオキ SPECIAL CONCERT
(土) ①13:00~15:00②16:30~18:30/6,600円
問 ライブアットマーク 090-3879-4655(小石)
- 1.21 TAKAKO.A音楽教室 23周年ピアノ発表会
(日) 14:00~16:00/無料
問 TAKAKO.A音楽教室 090-6675-0332(浅田)
- 1.26 姫路シネマクラブ 第161回例会
(金) 「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」
26日①11:00~②14:00~③16:30~④19:00~
27日①11:00~②14:00~
(土) 入会金500円、会費(2カ月分)1,000円 ※会員制
問 姫路シネマクラブ事務局 090-1028-7052

市民ギャラリー

- 1.20 山中歩夢 ピアノリサイタル「ふるさとに寄せる想い」
(土) ~わくわくは、SORA(天・空・奏・想)にある~
15:00~16:30/アートホール/無料(要申込)
姫路市出身の山中歩夢さん(ピアノ)と松本温子さん(ソプラノ)が出演する演奏会。山中さんがショパン:英雄ポロネーズなどを演奏するリサイタルのほか、松本さんとのコラボで「夢ある姫路(まち)」の演奏も。
問 Social Eight 090-1021-3071(松尾)

- 1.9 第17回 鷺城会美術展
(火) 10:00~17:00 ※初日は12:00~/第1・第2展示室/無料/1.14(日)まで
から 鷺城中学校と市立姫路高校の卒業生・鷺城会の会員による美術・工芸・写真等の作品展です。姫路城世界遺産登録30周年に寄せて、姫路城に関する作品も展示し、13日(土)には「私の姫路城自慢」と題したトークショーを実施します(14:00~15:30)。
問 鷺城会美術部会 079-235-0769(池本)

- 1.12 第18回『喫墨社』書法篆刻展
(金) 10:00~17:00/特別展示室/無料/1.14(日)まで
から 問 書法研究『喫墨社』 079-294-7155(香西)

- 1.17 彩の会展
(水) 10:00~17:00/第3・第4展示室/無料/1.21(日)まで
から 日展、日洋展、兵庫県美術同盟展などに出品した作品の数々を展示します。
問 彩の会 079-282-2168(FAX/加藤)

- 1.19 リビングカルチャー倶楽部 作品展
(金) 10:00~17:00/第1・第2展示室/無料/1.21(日)まで
から 受講生による作品展。絵画や手工芸品、フラワー作品など計13講座の約100点を展示します。会場では無料体験会も実施。
問 播磨リビング新聞社 079-287-9775

- 1.24 第18回 障害者手作り作品展
(水) 10:00~17:00/特別展示室/無料/1.28(日)まで
から 問 市民プラザ 079-287-0830

そのほか

- 1.8 プラネタリウムCDコンサート
(祝) 「プラネ de ニューイヤー 2024」
13:50~/姫路科学館 プラネタリウム/一般520円、小・中・高生210円
辰年にちなみ、龍(竜)に関連した曲や話題をお届けします。
問 姫路科学館 079-267-3001

- 1.14 第16回 姫路古墳ロード歩こう会
(日) 8:30~13:00/見野の郷交流館集合/無料
地図を見ながら、四郷町にある古墳群などを巡ります。小雨決行、雨天時は1.21(日)に延期。
問 見野の郷交流館 079-252-6659

- 1.20 由瓶の姫路落語会
(土) 14:00~/七福座/2,000円(当日2,300円)
笑福亭由瓶、桂健枝郎の出演で、「三年目」他を披露します。
問 由瓶落語会事務局 090-5167-2665

- 1.27 朗読会「古典を読む」
(土) 13:30~15:00/城内図書館 2階中会議室/無料
鎌倉時代中期の紀行文、阿仏尼の『十六夜日記』を朗読します。
問 サークルさえざり 079-289-4887(木曜のみ)

- 2.3 あいめっせ映画鑑賞会「PLAN75」
(土) 13:30~15:30/あいめっせホール/無料/定員100名/1.10(水)までに申込 ※必着
問 男女共同参画推進センター「あいめっせ」 079-287-0803

書写の里・美術工芸館 079-267-0301/月曜休館

10:00~17:00 一般310円、高・大生210円、小・中生50円

- 1.6 新春特別展「書家・金澤翔子展
(土) 一令和の近作と平成の代表作」
から 共生社会を目指す書家・金澤翔子さんの大作約40点を展示します。4月7日(日)まで。
◎展示解説会
1月14日(日)・27日(土)、14:00~14:30/要入館料/定員先着20名
担当学芸員が展示室で解説します。

- 1.6 所蔵品展③「清水公照の書画」
(土) 書写の里・美術工芸館初代名誉館長の清水公照師の作品を展示
から します。4月7日(日)まで。

姫路市立美術館 079-222-2288/月曜休館

10:00~17:00 コレクションギャラリー、前庭は観覧無料

- 1.21 チームラボ 無限の連続の中の存在
(日) 一般1,500円、高・大生1,100円、小・中生700円
まで あらゆる境界が取り払われた独自の映像インスタレーションのなかで鑑賞者が自由に動き、没入感を味わい、作品世界との一体感を経験します。
◎チームラボのメンバーによる子ども向けワークショップ
1月13日(土)14:00~16:00/無料(要観覧券。半券可)/定員15組/1.5(金)までに申込
小学生が保護者同伴で参加するワークショップです。



《群蝶、伊い命》
©チームラボ

- 1.21 コレクションギャラリー 超主観空間を考えるⅢ
(日) 境界を超える江戸琳派
まで チームラボが提唱する「超主観空間」の見方、考え方を通して、伝統的な日本美術作品の中でもとりわけ姫路と縁の深い江戸琳派作品を見る試みです。



松岡映丘《矢表》(右隻)1937年
姫路市立美術館蔵

姫路文学館 079-293-8228/月曜休館

- 2.4 特別展「没後50年 姫路が生んだ二人の作家 阿部知二
(日) と椎名麟三展」
まで 10:00~17:00/一般700円、高・大生400円、小・中生200円
つねに時代と連動しながら独自の文学を築いた2人の足跡をたどるとともに、姫路城がモチーフの小説・戯曲にも注目し、それぞれの魅力を浮かび上げさせます。
◎椎名麟三セミナー
1月13日(土)13:30~15:00/無料/定員先着100名
玉田克宏学芸員が「椎名麟三の思想」と題して講演します。



「文化情報 姫路」は県内の自治体広報誌や観光ガイドブックなどが閲覧できる「HYOGO ebooks」で配信しています。スマートフォンなどからご利用ください。

1.7 KOTOBAMAまつり

(日) 絵本朗読劇「まよと우리んこ」

①10:30～②11:30～③13:00～④14:00～⑤15:00～／無料／定員各先着100名
親子で楽しむ絵本朗読劇です。県立姫路工業高校演劇部が、独自の手法で名作絵本の世界を表現します。

1.21 第9回 藤原正彦エッセイコンクール表彰式

(日) 13:30～15:00／無料／定員先着100名
表彰式および藤原正彦館長による講評・ミニ講演のほか、音訳ボランティアグループ「サークルさえずり」のメンバーが中学生・高校生・一般の各部門の最優秀作を朗読します。

1.28 姫路文学館友の会研修講座

(日) 「校正のころ 積極的受け身のすすめ(仮題)」
13:30～15:00／500円／定員先着100名
宇佐美りん『推し、燃ゆ』、池井戸潤『陸王』など数々の話題作をえてきた校正者の大西寿男さん(ぼつと舎代表)が、仕事の舞台裏や言葉との向き合い方について語ります。

埋蔵文化財センター 079-252-3950／月曜休館

10:00～17:00 無料

3.31 姫路城世界遺産登録30周年記念展「姫路城」

(日) 近世城郭技術の粋を集めた姫路城。縄張り、建築、文献、考古資料など、最新の調査研究成果から魅力に迫ります。

銀の馬車道発掘調査速報展

明治9年(1876)に完成した馬車専用道について、道路の構造が発見されました。その成果をパネルで紹介いたします。

2.3 史跡見学会「姫路城攻略 外堀包囲」

(土) 10:00～12:30／100円／定員80名／1.9(火)から1.22(月)までに申込 ※必着
発掘調査の成果に基づいて、城下町とその周辺の外堀を専門職員の解説を聞きながら巡ります。大手前公園集合、JR姫路駅解散。雨天中止。

姫路市文化国際交流財団からのお知らせ

TEL 079-289-1101 FAX 079-289-8181

令和6年度(上期)文化活動支援

姫路市内を主な活動の本拠とする団体・個人が市内で行う芸術文化活動を対象に、助成金を交付します。※審査があります。

助成対象事業の実施予定日／令和6年4月1日～9月30日

申請期間(郵送のみ受付)／令和6年1月9日(火)～2月9日(金) ※必着

総合文化雑誌『BanCul(バンカル)』 2024年冬号(130号)特集「播磨の醸造文化」 好評発売中!

姫路市文化国際交流財団では、「播磨はひとつ」との視点に立ち、播磨の文化を幅広く紹介する季刊誌『BanCul』を発行しています。今号は、日本酒、みりん、しょうゆなど、播磨の自然と人が醸し、造る「播磨の醸造文化」の特集です。岩谷洋史さんの「播磨の酒の現状と課題」、古林万木夫さんの「和食と醸造」、松川慎平さんの「『山田錦』の軌跡とこれから」などの寄稿のほか、編集委員が日本酒などの醸造元を訪ねる「醸造の舞台を訪ねて」など、多彩な角度からアプローチしています。特集以外にも、劇作家・演出家の鄭義信さんのエッセイや、井上ミノルさんの「はりまの妖怪に何かようかい?(最終回)」など読み応えたっぷりです。(686円+税)



問 姫路市文化国際交流財団 バンカル編集室 079-289-1101

そのほか

2.18 古銭・古札を楽しむ 一館蔵・寄託のコレクションから

(日) 10:00～17:00／県立歴史博物館／一般500円、大学生350円、高校生以下無料／月曜休館

中国の歴代王朝が発行した銅銭、日本の大判・小判、近代の各種貨幣のほか、現在の兵庫県域で発行された多種多様な近世藩札類を紹介いたします。

1.12 収蔵品展

(金) 9:30～17:00／平和資料館／無料／月曜休館／4.14(日)まで
問 平和資料館 079-291-2525

1.13 岩田健三郎 版画展

(土) 9:00～17:00／見野の郷交流館／無料／3.10(日)まで
◎版画教室
2月18日(日)10:00～12:00／100円／定員先着50名／1.10(水)から電話で申込

問 見野の郷交流館 079-252-6659

1.16 新春の絵画展

(火) 12:00～15:00／ぜんかい画廊／無料／1.21(日)まで
問 ぜんかい画廊 090-3263-6316

発売中

3.9 ピアノシリーズ Vol. 1

(土) ピアノデュオ アンセットシス

14:00～／パルナソスホール

一般2,000円、高校生以下1,000円(全席指定)

出演／un sept six(アンセットシス):

山中惇史(ピアノ)、高橋優介(ピアノ)

曲目／モーツァルト:

2台ピアノのためのソナタ ニ長調 より

チャイコフスキー(アンセットシス編曲):

「くるみ割り人形」組曲

『176's Piano Party』ほか

問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

3.10 人形浄瑠璃 文楽

(日) [本公演]

14:00～／アクリエひめじ 中ホール

演目／義経千本桜

椎の木の段、すしやの段

一般4,000円、高校生以下2,000円(全席指定)

[鑑賞教室]

11:30～／アクリエひめじ 中ホール

内容／文楽三業(太夫、三味線、人形)の解説

実演「伊達娘恋緋鹿子火の見櫓の段」

一般1,000円、高校生以下500円(全席指定)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806 [web予約](#)

※詳細は2～3ページをご覧ください。

3.30 アクリエひめじ オープニングシリーズ

(土) 音楽の絵本 ～フェアリーテール～

14:00～／アクリエひめじ 中ホール

一般2,000円、小学生以下1,000円(全席指定)

※0歳以上入場可。2歳以下は保護者1名につき1名まで膝上鑑賞可

曲目／グリーンカ:歌劇「ルランとリュドミラ」序曲

踊ろう楽しいポーレチケ ほか

問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

◎特に記載のない催しは未就学児入場不可

◎内容が変更となる場合がございます

◎web予約は姫路市文化国際交流財団チケットオンラインが利用できます





パルナソス 朝のハーモニー
No.245 カルテットで贈る春

2.10 10:30～ パルナソスホール
(土) 500円(全席指定)※3歳以上入場可



カルテット・プリマヴェーラ ©Ayane Shindo

春はすぐそこに。音楽と過ごす贅沢なひとときを

「土曜日の“朝のひととき”をちょっと贅沢に、そして気軽にクラシック音楽を」をコンセプトに1992年に始まったワンコインコンサート「パルナソス朝のハーモニー」。2月は弦楽四重奏団の「カルテット・プリマヴェーラ」の皆さんをお迎えします。「プリマヴェーラ」とはイタリア語で“春”。元東京クワルテットの磯村和英氏が名付けられたそうです。

ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2023で第2位を受賞、サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェローとして各地で精力的に活動されている、今聴くべき注目の4人組。第1ヴァイオリンの石川未央さんは姫路市出身で、姫路パルナソス音楽コンクールの受賞者でもあります。

今回のプログラムは、モーツァルトの楽曲の中でも人気の高い有名曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、明るさ

や可愛らしさの中に気品をそなえた「弦楽四重奏曲 第17番『狩』より 第1楽章」など、清々しい朝にぴったり。ドヴォルザークの「弦楽四重奏曲 第12番『アメリカ』より 第1、4楽章」は弦楽四重奏曲の中でもとりわけ人気の高い曲。ドヴォルザークがアメリカ滞在中に作曲した作品で、冒頭、ヴィオラのキャッチーなメロディに誘われ、次第に活気を帯びていく様はワクワクします。第4楽章は「鉄オタ」で知られるドヴォルザークの魅力たっぷりの、まるで機関車が大自然を駆け抜けるかのような疾走感が聴きどころのひとつです。

週末が始まる朝の1時間を、音楽と過ごす贅沢なひとときに。パルナソスホールで、ゆったりとお過ごしください。(A)

📍 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

アクリエひめじオープニングシリーズ
池辺晋一郎Presents
不朽の邦画音楽コンサート ―銀幕の名曲たち―

2.24 15:00～ アクリエひめじ 大ホール
(土) S席4,000円、A席3,000円、
B席2,000円、U-25各半額(全席指定)



池辺晋一郎 ©藤本史昭



役所広司

“名画”の中に “名曲”あり。

選りすぐりの邦画音楽を、生のオーケストラ演奏でお届けします。司会は日本を代表する作曲家の池辺晋一郎さん、そして、トークゲストにはドラマ「VIVANT」での緊迫した演技も記憶に新しい名優・役所広司さんという豪華コンビでお贈りします。

プログラムは、池辺さん作曲の「影武者」「うなぎ」をはじめ、「七人の侍」「ゴジラ」「Shall We ダンス?」「男はつらいよ」「戦場のメリークリスマス」などバラエティに富み、その曲を聴くと自然に映画のワンシーンが浮かび上がる名曲揃いです。演奏は国内のオーケストラで首席を務めるトップクラスの奏者が集結した姫路オリジナルの「Legendary Orchestra in Japan」で、山下一史さんが指揮を務めます。

池辺晋一郎+役所広司=??? 一体、どんなお話が飛び出すのか? も楽しみのひとつです。一日限りの特別なコンサートで、映画の世界に浸ってみませんか。(S)

📍パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)



Legendary Orchestra in Japan

表紙イラストストーリー

今月のうさぎさん 1月

New Year

Vol. 9 お正月

姫路の文化が気になるうさぎさん。2024年の干支である辰さんと一緒に、新年のお祝い演奏を届けます。

新年あけましておめでとうございます。みなさまにとって良い一年になりますように。





NEW! 今月発売

3.3 「交響詩ひめじ」演奏会 (日)

15:00～/パルナソスホール

「交響詩ひめじ」は姫路市制100周年を
記念して1989年に制作されました。
2月に開催する合唱コンクール受賞団
体と姫路市吹奏楽団が演奏します。

出演/お話:池辺晋一郎
(「交響詩ひめじ」作曲者)

指揮:西谷 亮

演奏:姫路市吹奏楽団(賛助:播磨国吹奏楽団)

合唱:合唱コンクール(2月に開催)受賞団体

曲目/池辺晋一郎:ランドスケイプー吹奏楽のために
胎動の時代ー吹奏楽のために
池辺晋一郎 曲/川口汐子 詩:交響詩ひめじ 全章

無料(全席指定、要チケット)

チケット申込開始日 1月23日(火)



西谷 亮

池辺晋一郎

©藤本史昭

問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

4.21 オルガンシリーズ Vol.17 (日) ヨハン・セバスティアン・バッハ ～オルガニストの軌跡①～

14:00～/パルナソスホール

教会や宮廷のオルガニストとして生涯をオルガンに捧げたヨハン・
セバスティアン・バッハ。彼の辿ったオルガニスト人生を3つの時
代に分け、それぞれの時代の作品に焦点を当てる第1回です。若き
才能が開いた「アルンシュタット時代」をお届けします。

出演/長田真実(オルガン、お話)

曲目/オール・バッハ・プログラム

トッカータとフーガ 二短調 BWV565

いと高きところには神に栄光あれ BWV715

カンツォーナ 二短調 BWV588 ほか

一般 2,000円、

高校生以下1,000円(全席指定)

一般発売日 1月26日(金)

財団友の会 1月24日(水)



長田真実

J.S.バッハ

問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

7.27 東京二期会オペラ (土) プッチーニ「蝶々夫人」

14:00～/アクリエひめじ 大ホール

世界を魅了し続けたデザイナー高田賢三、
最後の衣裳デザインがここに――
欧州、北米で絶賛された、宮本亞門演出の
名作オペラ『蝶々夫人』の姫路公演!

オペラ全3幕

日本語字幕付原語(イタリア語)上演

指揮/ダン・エッティンガー

演出/宮本亞門

衣裳/高田賢三

主な出演

蝶々夫人:大村博美

スズキ:花房英里子

ピンカートン:城 宏憲

シャープレス:今井俊輔

合唱:二期会合唱団

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

S席12,000円、A席9,000円、B席7,000円、C席5,000円、
D席3,000円、学生席2,000円(全席指定)

一般発売日 1月31日(水) 財団友の会 1月29日(月)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806 [web予約](#)



宮本亞門



高田賢三

©MASARU MIZUSHIMA

発売中 中面にも掲載しています。

1.8 バロック in 姫路
(祝) 声の魔力
バロックの歌物語 ～オペラ《ポッペアの戴冠》を中心に～
14:00～/パルナソスホール
一般3,000円、高校生以下1,500円(全席指定)
問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

1.13 パルナソス 朝のハーモニー
(土) No.244 ロマンズの響き ～愛を紡ぐチェロの名曲～
10:30～/パルナソスホール
500円(全席指定) ※3歳以上入場可
問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

1.15 劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」
(月) 18:30～/アクリエひめじ 大ホール
S席 完売、A席8,000円 ※残席わずか、B席5,000円(全席指定)
問 姫路キャスパホール 079-284-5806 [web予約](#)

1.28 オルガンシリーズ Vol.16
(日) オルガン協奏曲の祭典
14:00～/パルナソスホール
一般 2,500円、高校生以下1,000円(全席指定)
問 パルナソスホール 079-297-1141 [web予約](#)

2.11 懐かしの洋楽ヒットバラード
(祝) 第25回 ～あの人と一緒に聞きたいこの曲～
14:00～/姫路キャスパホール/700円(全席指定)
出演/三浦紘朗(元ラジオ関西アナウンサー)
※リクエスト募集中! 2024年1月5日(金)締切です。
問 姫路キャスパホール 079-284-5806 [web予約](#)

◎特に記載のない催しは未就学児入場不可

◎内容が変更となる場合がございます

◎ [web予約](#)は姫路市文化国際交流財団チケットオンラインが利用できます



情報をお寄せください

「文化情報姫路」は姫路市内で開催されるコンサート、舞台、展覧会などの情報を中心に掲載しています。催しのタイトル・日時・料金・問合せ先を、お気軽にお寄せください。原稿の締切は、催し開催月の2カ月前の15日(3月開催なら1月15日)です。

「文化情報姫路」は姫路市文化国際交流財団
ホームページにも掲載しています。



姫路市文化国際交流財団 友の会

年会費/1,000円 会員期間/1年間

会員募集中

ご入会手続きは下記プレイガイドをご利用ください。
プレイガイド営業時間 10:00～17:00

問 姫路キャスパホール 079-284-5806
パルナソスホール 079-297-1141



いつでもご入会
いただけます。

